



発信年月日：令和4年（2022年）5月16日
所 属 名：高島農産普及課
番 号：H22001
部 門 分 類：210
発 信 者 名：中井、永見

酪農のさらなる規模拡大・省力化を目指し

ロータリーパーラー（搾乳施設）を導入

高島市朽木の有限会社宝牧場では、飼養頭数の拡大および省力化による生乳の安定供給をめざして施設整備を進めてきました。このたび、牛舎およびロータリーパーラー（搾乳施設）が完成し、4月から稼働が始まりました。

ロータリーパーラーとは、円形の回転台に牛を載せて搾乳を行う搾乳施設で、滋賀県では初めての取り組みとなります。

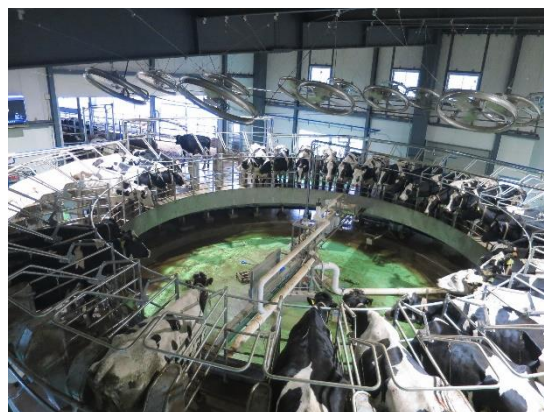
既存のヘリーンボンパーラーは、牛が搾乳器の前に並び、スタッフが移動して搾乳器を装着していますが、ロータリーパーラーでは、1か所の入り口にスタッフが立ち、移動せずに搾乳器の装着を行うことができるようになります。人の移動がなくなることで作業の省力化を図り、搾乳時間はこれまでの半分に短縮されます。

また、新たな牛舎では、温度および湿度を感知して作動する換気システムやミスト設備が導入され、飼養環境の改善により搾乳量の増加が見込まれています。

当課では高島地域畜産クラスター協議会と連携して畜産振興を支援しており、今後も畜産業の省力化や飼養環境改善にかかる技術導入を進めます。



新牛舎



ロータリーパーラー